

## アメリカの国立アジア美術館

### —フリーア美術館の日本絵画コレクションの展示と収集について

フランク・フェルテンズ

フリーア美術館 日本美術担当学芸員、アメリカ



#### 略歴

ワシントン・DC にある国立スミソニアン協会フリーア美術館／アーサー・M.サックラーギャラリー日本美術担当学芸員。尾形光琳の研究でコロンビア大学より日本美術の博士号取得。フリーア／サックラー美術館では、Japan Modern: Prints in the Age of Photography (2018-19) 写真の時代における日本の近代版画 (2018～2019 年)、Painting the Classics 古典を描く (同)、Hokusai: Mad about Painting 画狂人北斎 (同) など多数の展示を企画。次回 Meeting Tessai: Modern Japanese Art from the Cowles Collection 鉄斎との出会い：カウレス・コレクションの近代日本美術展では、フリーア美術館への寄贈品を特集する。最近では日本の絵師・尾形光琳と酒井抱一や写真家土門拳と東松照明についてなどの著作や講演会など幅広く活動している。

日露戦争後の1906年スミソニアン協会理事会は、チャールズ・ラング・フリーアの国家への画期的な寄贈を受け入れた。この実業家は、彼のアジア・アメリカ美術のコレクションを、それら美術品を維持・保管するための美術館を建てる資金とともに寄付したのである。スミソニアンが美術品の寄贈を受けたのはそれが初めてであり、1923年フリーア美術館の開館はアメリカ初の国立美術館の誕生となった。

美術館がアメリカの政治の中心にあるにもかかわらず、チャールズ・ラング・フリーアは政治的ではなく美的な目的でコレクションを集めていた。日本とそれらすべての元である中国の美術はフリーアを虜にし、彼は二つの文化の何百年もの歴史にひかれた。フリーア美術館の哲学と精神は、こうした二つの考え—政治と美学—によってつくられた。展覧会や事業において、当館は今でもこれらの原則を我々の思考をけん引するものとして掲げている。

フリーアがコレクションをスミソニアン協会に寄贈したとき、作品を研究に供し注意深く世話をしよう特に要求して寄贈した。これが、誰でも希望すればフリーアで作品を見ることが出来る理由の一つである。われわれはまた、アメリカでもっとも大きな保存科学施設の一つを擁している。

フリーアの考えでは、アクセスを確保し蒐集作品の状態を保存する最良な方法は他の機関への貸与を避けることだった。フリーア美術館は、その収蔵品が建物を出ることがないという西洋の

アジア美術館では特殊な館である。また、フリーアでは他からの借用品は展示されない。新しい収蔵品は寄贈や購入から加えることができる。

フリーア美術館のスペースは地域で分けられており、日本は西館の 5 部屋を占めている。収蔵と修復の施設は展示室階の下にある。フリーア美術館のイタリアの邸宅風の建物はチャールズ・プラットという、金持ちのアメリカ人の別荘建築で知られた建築家によるものである。内部のレイアウトは 20 世紀初めの美術の見方・心理学の考え—今日なお美術館の学芸的選択に影響を及ぼす考え—を強く表している。来館者はどこから入るかによって自由に順路を選べるよう回廊に沿って進む。回廊には通常美術品は展示せず来館者が自分のペースで館を回れる道となっている。彼らは自由な順番・方向に進み展示室にあるどの作品をみるか選べるようになっている。建物の真ん中にある屋外の中庭は公園のような雰囲気である。そのスペースは 20 世紀初めの理解、すなわち自然をみることは意識して行うことではなく（美術品をみることは反対に）展示室に戻る前に心を満たすためである、というものである。

フリーアの日本室は通常平常展に使われている。伝統的に展示室ごとにあるテーマが設定される。ギャラリー 8 は宗教美術、ギャラリー 6 はよく陶磁の部屋となる。ギャラリー 5 は昔から屏風の展示室であり、建物内で最大のガラスケースを擁している。最大の部屋はギャラリー 7 で、多様に絵画や書跡の掛け軸をそのほかの小さい作品とともに展示している。ギャラリー 6a と呼ばれる床の間には、昔は茶道具を展示していたが、近年は名品のスペースとなり、特に重要な作品を飾るスペースとなっている。

フリーア美術館の天井には窓がある。ただガラス窓は UV 吸収フィルター付きで展示物にいかなる有害な光線も届かないようにしている。人口光は拡散し自然光に影を作らないように調節している。自然光と人工照明を混在させることで来館者は 1 日のどの時間に来るか、また来る季節によってかなり違った鑑賞体験ができるようにしている。例えば冬の夜は、夏の午前中よりずっと劇的な演出となり、来館者は季節の違いによるインパクトの変化や美術を見る時間の違いをより気づきやすくなる。

今日、親しみやすく、見やすく、好奇心を掻き立てることはフリーア美術館の収蔵品展示における使命の核である。定期的に来館者調査を行い、来館者の人口統計、彼らの期待、満足度などを測っている。スミソニアン協会のコレクションは国民のものであるという事実は、内容を落とさずあらゆる人が親しめる展示にする責任が生じる。これは学芸員が題箋を書く際挑戦と機会を創り出す—展覧会のすべてのテキストは、統一を図り親しみやすくするため館内で編集する。

フリーア美術館の展覧会は、館の収蔵品のみで構成される。チャールズ・ラング・フリーアの遺言は購入や寄贈をとおして新規の収蔵は許しているがフリーアのコレクションが建物を離れることは許可していない。われわれは、他機関から借用してフリーアで展示することもできない。隣接するアーサー・M.サックラーギャラリーが代わりにその役割を果たしている。

2019 年 11 月フリーアの没後 100 年を記念して、フリーア美術館史上最大の特別展を開催した。フリーアの 5 つの日本室をすべて一つの展覧会とし、葛飾北斎の絵画、スケッチ、素描に焦点を絞ったのである。北斎はフリーアのお気に入りの画家で、彼は北斎の絵画、スケッチ、素描の世界最大のコレクションを築いた。実際、フリーアのコレクションの中に含まれる北斎の作品は、単独の芸術家としては最大の数である。

5つの展示室を一つの展覧会につなぐため、デザインはフリーアの建物の静かな雰囲気からある意味過激に離れるデザインを選択しなければならなかった。日本室の西側の回廊は一つのテーマで各展示室をつなぐものとする必要があった。われわれはそこに、展覧会タイトルを大きく書いて自撮りを撮る価値のある壁とすることにした。回廊が直感的に入口とわかるため、そこに最初の壁の文章と北斎の生涯の年表を設置した。一つの展示室に一つのテーマとすることから離れ、この展覧会では時計回りに展示室から展示室へと北斎の作品を時系列にみられるよう進む流れを作った。フリーア美術館で初めてタッチパネルを設置し、ゲルハルド・パルバラー版本コレクションの「北斎漫画」を見られるようにした。将来われわれはフリーアの展示にもっと新しいものを加えたいと思っている。これは、2023年に美術館の百周年を迎えるという特別な時期に得た野望である。

アメリカの首都において、フリーア美術館は日本とほかのアジアの国々の豊かで多様な文化をみせるという特別な役割がある。われわれは、この使命を保ちながらこの急激に変わる世界において移行行くパラダイムを反映させるようにするつもりである。